

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第8次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	おかやましえん まびほうす		
団体名称	岡山支援 まびhouse		
代表者職名	代表	ふりがな	やました きくみ
		代表者氏名	山下 菊美
			㊟
ふりがな	おかやまけんくらしきし		
団体住所	〒710-0055 岡山県倉敷市		
電話番号		F A X	
設立年もしくは活動年数	2018年9月発足		
スタッフ数	有給スタッフ 0 名・無報酬スタッフ 0 名・ボランティア等 21 名		
団体HP(あれば)	https://mabihouse0707.localinfo.jp		
FBページ(あれば)	https://www.facebook.com/mabihouse0707/		
CANPAN登録	あり(星1つ)【団体ID: 1226783429】		
※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)			
担当者役職名(必須)	代表	ふりがな	やました きくみ
		担当者氏名	山下 菊美
郵送物送付先住所	〒710-0055 岡山県倉敷市		
担当者電話番号(極力携帯番号)		担当者 e-Mail	

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)			
事務局記入欄 受付日・受付者		事務局記入欄 CANPAN 登録	有 ・ なし (予定 月 日頃)

申請事業の内容

事業種類・内容 該当する活動に○をつけてください。	①. 災害支援・復興活動(真備エリア) 2. 災害支援・復興活動(県内各地)
事業名 (もしくは事業概要)	西日本豪雨被災地【倉敷市真備町】に対する支援活動を行う。 主にコミュニティ再形成のための居場所や交流会の提供を行う。

【現状・支援内容】

①【実施中・継続予定】コミュニティ形成・再形成のための場の提供、支援。(小規模)

10月より実施している、月二回のコミュニティお茶会。季節に因んだ軽食・お茶をお供にわいわいお喋り。

みなしや仮設、在宅の方が集まり、近況報告や情報交換をする場、また被災者同士で新しく顔見知りになり、交流の場所となっている。また支援者も参加可能となっており、医療・福祉関係者等の支援者の被災者ニーズ収集の重要な拠点としての役割もあるため、基金を活用しこれまで通りの飲食の提供に加え、製作系ワークショップ職人等に参加して頂き、飽きのこない工夫をする必要がある。

②【実施中・継続予定】社会福祉協議会や他団体と連携しながら被災者の交流イベントの実施。(中～大規模)

倉敷市社会福祉協議会との共同イベント「いっぼいっぼ」。倉敷市中心部、水島地区、と計三回実施。炊き出し、ミニゲーム、飲料提供、ワークショップ(季節飾りやアクセサリー)、ミニライブなどを行い、お茶会同様被災者の憩いの時間となっている。定例お茶会よりも、「少し開けたいっぼいっぼであれば参加しやすい」と小さなお子様連の被災者さんにも定評がある。

来年度は、いっぼいっぼ内、もしくは他団体との連携イベントなどのコミュニティの場にて「災害から学ぶ防災対策」について、ワークショップ形式での意見交換をし、まとめていく活動を実施予定。ワークショップに参加するもの同士で目標を共有しながら、一緒に達成感を味わう体験の場を作りたい

(目標例)

- ・自分の被災体験を自分で記すという主体的な活動を行う
- ・つらい災害を繰り返さないための教訓を自分たちで作り上げていく

(※ワークショップで完成したものは、後日岡山県内被災地区以外の学生への講演・交流会にて活用予定。防災について考えるきっかけ、同じ岡山県内で実際起こった災害について深く知る機会を提供したい。)

事業の実施内容

・どのようなことをいつ(回数等)やるのか

①【継続】コミュニティお茶会の運営

お茶会をしながら、離れ離れになった被災者が集まる場所を提供する。近況報告や情報交換、ワークショップの実施、健康相談等を実施する。

●開催日 第1日曜日・第3水曜日(いずれも11時～15時)

●場所

〒710-0055 岡山県倉敷市阿知1丁目7-2

くらしきシティープラザ西ビル2階 倉敷磯の家 内

②【継続】倉敷市社会福祉協議会と連携しイベント「真備をつなぐみんなの集い いっぼいっぼ」の開催、運営

離れ離れになった被災者が集まり、集うイベントを定期的開催する。

炊き出し、ミニゲーム、ワークショップの実施、ハンドマッサージ、健康相談等を実施する

●開催日 適宜。社会福祉協議会と相談の上(2018年度計三回実施)

●場所

〒710-0834 岡山県倉敷市笹沖180 くらしき健康福祉プラザ 他

事業の実施体制

・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

【メンバー】

所属メンバーの一部は被災当事者である。

被災者と支援者は同等の立場で復興支援活動を行う

(被災者は特に情報収集、ニーズ把握、情報発信(住民ラインへの告知)、としての役割)

【連携先団体】

・物資受け入れ倉庫・一時保管場所

日の出自動車 様

〒710-0805 倉敷市片島町1016-5

・コミュニティハウス

倉敷磯の家 様

〒710-0055 岡山県倉敷市阿知1丁目7-2 くらしきシティープラザ西ビル2階

・物資提供実績(2月7日現在)

株式会社 ファーストリテイリング 様

総社市役所 様

ライオンズクラブ 様

・イベント提携

倉敷市社会福祉協議会様 (真備をつなぐみんなの集い いっぼいっぼ)

ライオンズクラブ 様 (クリスマスイベント)

真備よろずチーム研究所 様 (真備っこ秋祭り、トライフープIN岡山)

総社市役所様（吉備路マラソン）

事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

助成期間終了後も活動を継続予定。

メンバーの多くは被災者であることから、自団体主催の大規模なイベントは困難ではあるが、社会福祉協議会や他団体と連携しながら被災者のコミュニティ提供のイベントは継続実施したい。

お茶会についても、この日に友達に必ず会えると楽しみしてご年配が多くおられるので、定期開催は継続予定。

医療・福祉関係者等の支援者の被災者ニーズ収集の重要な拠点にもなっているので、ワークショップ職人等に参加して頂き、飽きのこない工夫をする

その他

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

発災から半年以上が経過し、
地方局以外の報道やボランティア、支援団体は減少しつつあります。

そんな中、実際の被災地では
同じ被災された方でもそれぞれの生活再建の状況、スピードが異なり、
必要とされるものについても、各家庭ごとに異なります。

そして生活再建の周囲との差に、
心を苦しめている方も多くおられ、声をあげづらい状況になっています。

よってこれまで以上に、
被災された方のお声をお聴きし、寄り添い、心の支えになる必要があると強く感じます。

支援のカタチは日々変化しておりますが、
今後も寄付金支援者さまのお力をお借りしながら、真備町の方が安らげる居場所を提供する活動を続けたいと思っております。
どうぞよろしくお願ひ致します。